

実践する、実践できる
サーベイランスin北海道

2012年9月8日(土) 10:00~17:00

北海道旭川市 旭川トーヨーホテルで開催しました

- 参加者：32名

本州の真夏の暑さから逃れ、さわやかな北海道
で有意義な研修となりました。



ステップUP！ 医療関連感染サーベイランス



筑波大学附属病院水戸地域
医療教育センター 水戸協同病院
崎浜 智子 先生

サーベイランスの計画から
フィードバック方法まで先生
の経験に基づく、具体的な
講義でした。参加者から具
体的でわかりやすかったと
感想がありました。

サーベイランスのためのケース判定： サーベイランス実施のために、まずは 患者のアセスメントから



北海道医療大学

大学院 看護福祉学研究科

塚本 容子 先生

ケース判定はサーベイランスの精度を左右する重要なポイントです。血算の見方や症状の判断について教えていただきました。

演習：SSI、BSIの事例を基にグループワークを行いました



【演習アドバイザー】(敬称省略)

- 桐 則行 市立旭川病院
- 平岡康子 旭川赤十字病院
- 村田弘美 カレスサッポロ北光記念病院
- 萩野貴志 NTT東日本札幌病院
- 小山田玲子 北海道大学病院
- 崎浜智子 水戸協同病院
- 塚本 容子 北海道医療大学 大学院
看護福祉学研究科

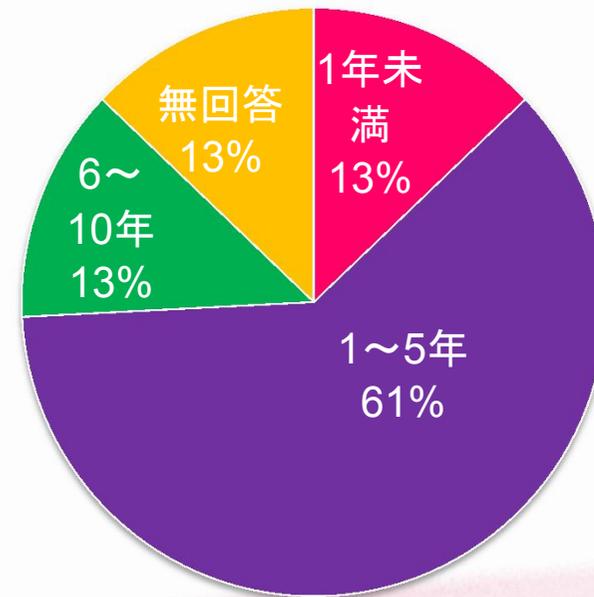
アンケート結果

～ご協力ありがとうございました～

- 参加人数 31名（途中退席1名）
- アンケート回収 31名 回収率 100%

認定資格取得後の年数

1年未満	4人
1～5年	19人
6～10年	4人
無回答	4人



演習について

大変参考になった	20人
参考になった	4人
それほどでもなかった	1人

- 演習だけでなく、症例判定の難しい症例の考え方も意見交換ができて、大変参考になりました。
- 演習。新鮮でした。事例に沿って皆でディスカッションができた。
- 今後実施する予定の診療科の実施方法を理解することができた。
- 事例が具体的に提示され、不明瞭な知識を確認する事ができた。
- 事例検証で色々な意見が出て、視点を変えることができたと思う。
- 自施設で使用できる情報をたくさん頂けたので、参考になりました。
- 他施設の話や事例を聞くことができ、良かった。